

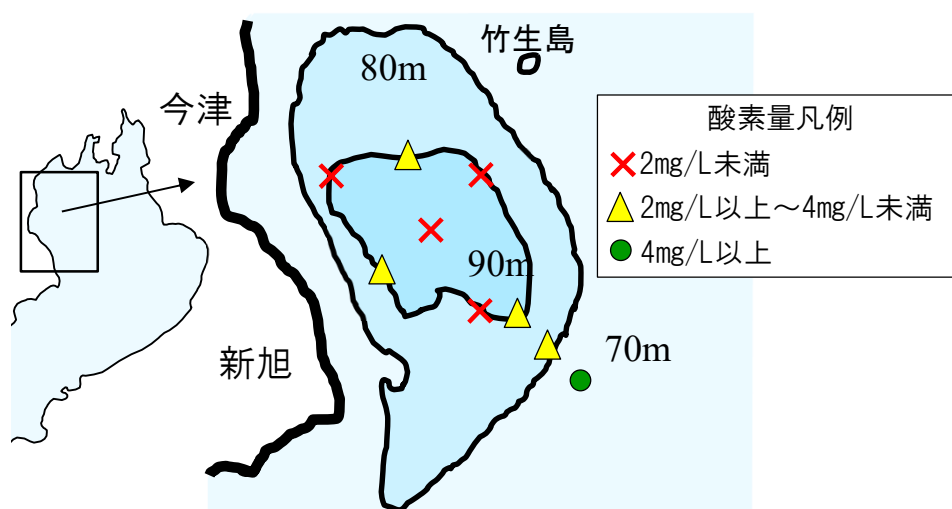
北湖沖合湖底の酸素量とスジエビ等の生息状況

2024年10月1日
滋賀県水産試験場

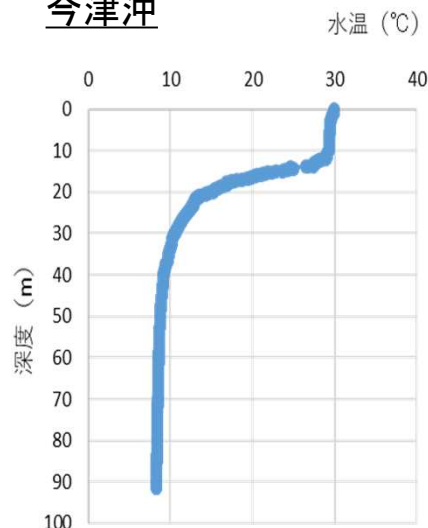
琵琶湖沖合の底層では、秋から冬にかけて酸素量が低下し、2mg/Lを下回るとスジエビなど魚介類の生存や分布に影響を与えることがあります。

そこで、水産試験場や琵琶湖環境科学研究センターが実施した酸素量やスジエビ等の生息状況に関する調査結果をお伝えしますので、操業の参考にしてください。

○湖底等の酸素量(2024年9月17日時点)

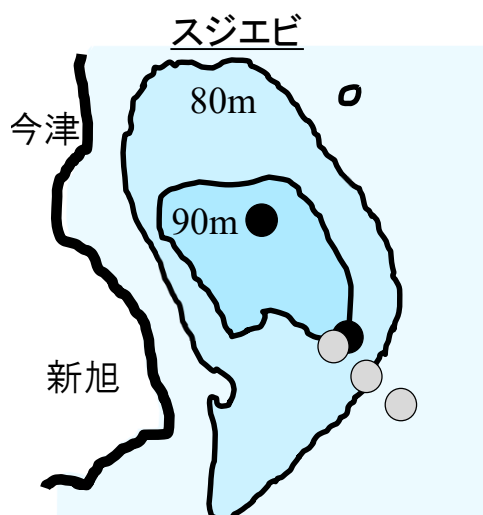


今津沖

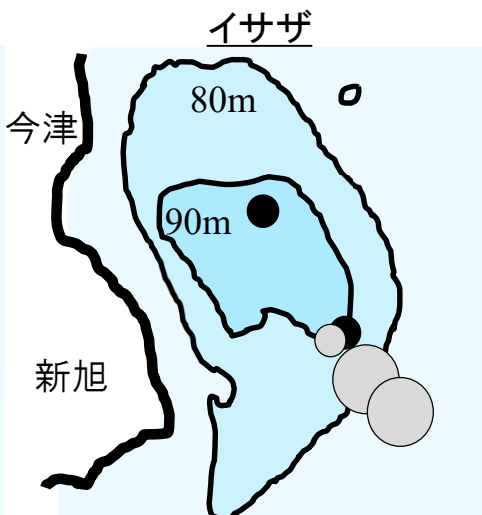
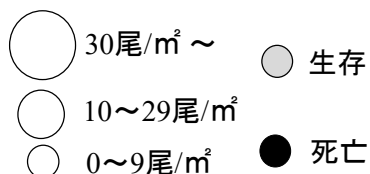


- ・湖底直上1mの酸素量は水深90m水域で2mg/Lを下回るところがありました。
- ・湖底水温は8.3℃でした。

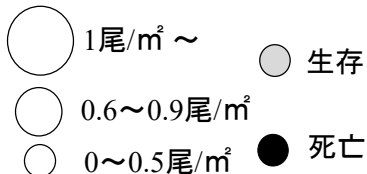
○スジエビ等の生息状況(2024年9月17日時点)



スジエビ凡例



イサザ凡例



- ・スジエビ
死亡個体は水深90m水域のみで確認されました。
- ・イサザ
水深80mより浅い水域で多く確認され、死亡個体は水深90m水域のみで確認されました。